平成29年度夏季研修会について　報告

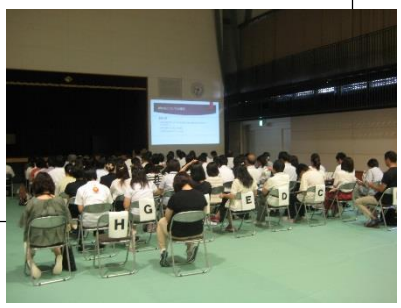
平成29年8月2日（水）　本校体育館において

今年度は、本校高等部進路指導主事による「高等部での就労に向けた取組」をテーマにした講義と「各ステージで必要な支援について」の協議会による構成で行いました。

講義では、様々な就労形態についての説明とともに、本校の高等部で取り組んでいる自立活動や作業学習、職業コースの実践内容や、具体的な指導内容について説明がありました。

後半は、日々接している児童生徒が将来就労していくために、今できる支援とは何か？今、身に付けるべき力とは何か？について、グループに分かれて協議を行いました。それぞれの学校で取り組んでいる内容についての情報交換を行ったり、困っている事例について相談をしたり、情報を共有したりと様々な意見が出されました。

小・中・高等学校の先生方もたくさん参加していただきありがとうございました。今後も意見を交換できるような内容の研修会を考えていきたいと思います。



〈今回の講義のポイント〉

・「就労」にも様々な形があり、目指す就労先や個々の実態に合わせた取組が必要。
・一般就労やより支援が少ないサービスにトライすることが必ずしも良いとは限らない。
・「実態に合った就労先」、「長く続けられる就労先」を見付けていくことが大切。
・早い段階から就労に向けた取組を始め、継続することが必要。
・将来を見据えた指導、支援が必要。

〈参加者の声（アンケートより）〉

〈講義〉
・いろいろな就労の形があることを知ることができた。
・子どもたちの将来について深く考え、今、何をしなければならないかを考えることができた。
〈協議会〉
・他校の取組などが分かり、情報交換ができてよかった。
・多くの面から話を聞けてよかった。今やっていることを発展させてキャリア教育を実践していきたい。

たくさんの御意見をありがとうございました。

つい、日々の教育活動や目の前のことに目が向きがちですが、長期的な視点を持つことを忘れずに、将来の就労に向けて必要な支援を考えていく姿勢も大切にしていきたいものです。また、家庭や地域、医療と連携してキャリア教育を進めていくことの大切さも改めて感じることができました。

いろいろな御意見を生かし、来年度も夏季研修会を計画していきます。また、たくさんの御参加をよろしくお願いします。